

令和5年7月28日

特定非営利活動法人 みどりと大地の会 印西支部
中澤 博雄 様

印西市市民活動推進委員会
委員長 戸川 和成

令和5年度企画提案型協働事業 公開審査会（アイデア審査）審査結果及び最終審査の書類提出について（通知）

盛夏の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおり審査結果をお知らせいたします。

記

- 1 事業名 放置竹林の整備ならびに筍味噌、竹炭など印西特産品の開発推進
- 2 審査結果 否
- 3 付帯意見 ①放置竹林の問題は地域における課題と言えらると思ひます。
②協働事業として実現していくためには、土地所有者との調整方法や整備エリア等をより明確化されることが望ましいと考へます。また、特産品開発については、市の事業として実施していく展望が明確になると良いと思ひます。再チャレンジされることを期待します。

問い合わせ先

印西市市民部市民活動推進課

活動支援係（本田・榎田）

TEL 0476-33-4431（直通）

Email siminkatudou@city.inzai.chiba.jp

【提案5】 「放置竹林の整備並びに筍味噌、竹炭など印西特産品の開発推進」

提案者の発表

- ・パワーポイント及び資料を使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問1）自分たちで収穫して販売するとのことですが、利益をどのように還元しようと考えていますか。協働の形としてはどうなりますか。

（提案者回答）利益にはなっていない。会員から年会費一万円を集め、商品としている。

（質問2）私有地（個人所有の土地）の地権者との調整はどのように考えていますか。

（提案者回答）竹林として成り立っていない。荒れた状態になっている。

（質問3）地権者との調整において、具体的に取り組んでいる事例はありますか。

（提案者回答）大森坂上に荒れた竹林があり、地権者に説明し、理解を得ながら整備しており、地権者に喜ばれている。

（質問4）竹炭や発酵食品の紹介もありましたが、竹林の整備と発酵食品の販売と、どちらが事業の中心なのでしょう。放置林で所有者が誰か分からない、周辺が迷惑しているのを、市行政に関与してもらいたいところでしょうか。竹林の整備と発酵食品の販売と、どのように結びつくのか疑問です。

（提案者回答）竹林を整備することで筍を掘ることができ、掘った筍を発酵食品にすることができると考えています。人類の健康と安全が危惧されているため、印西支部を立ち上げ、活動している。

令和5年7月28日

チームいんざい

星野 渉 様

印西市市民活動推進委員会

委員長 戸川 和成

令和5年度企画提案型協働事業 公開審査会（アイデア審査）審査結果及び最終審査の書類提出について（通知）

盛夏の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおり審査結果をお知らせいたします。

記

- 1 事業名 チームいんざいプロジェクト
- 2 審査結果 否
- 3 付帯意見 ① 市民参加を進めてく必要性は高いと感じます。
② 協働事業として実現していくためには、事業の目標と実施内容、市との役割分担を明確にされると良いと思います。再チャレンジされることを期待します。

問い合わせ先

印西市市民部市民活動推進課

活動支援係（本田・榎田）

TEL 0476-33-4431（直通）

Email siminkatudou@city.inzai.chiba.jp

【提案6】 チームいんざいプロジェクト（チームいんざい）

提案者の発表

- ・パワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問1）市政への参加を提案するとのことですが、憲法に係るお話もありました。印西市での取り組みとしては、まちづくりに係ることでしょうか。

（提案者回答）提案を練れていないところがあるが、市民参加を促すに当たり、地域で抱える課題を市民がどう考えるのか、市民自身がアイデアを出してくることが大切と考えている。

（質問2）事業の焦点としては、どんな点でしょうか。

（提案者回答）アイデアが具体的ではないところがあるが、市の担当者と内容を詰めていきたい。

（質問3）市民参加とは、手段であると考えています。最終目標はどういったところでしょうか。

（提案者回答）当事者である市民が印西市をどうしていきたいのかを吸い上げていって、市行政に伝えていきたい。まだ、最終的な内容を提案しているわけではない。